

2022年度 学育事業報告

【2022年度事業部方針 ビジョン・戦略】

ビジョン「社会に必要とされるひまわりの学育事業のサービス確立」
戦略「対話を通して行う個々のスキルアップと事業部内の資源のバージョンアップによる質の向上。」

【「にじいろの子どもたち」の理解を深め、リーダー層が語れる】

- ◇活動内容 「にじいろの子どもたち」への理解を深めるために「小学生のあるあるエピソード」を各施設で集め共有していきました。それをまとめていくことで、自分たちが関わる小学生たちの理解を深め、「にじいろの子ども」への対応がどういふものかを語れるようになることを目的として取り組みました。
- ◇成果 各施設で取り組むことでパート職員を巻き込み「小学生の特徴を理解した上での児童対応」につながったと考えます。しかし、最終的にまとめて冊子にするまでには至らず、次年度の事業部研修で活かしていきます。

【事業所間の風通しを良くすることで、職員の視野を広げていく】

- ◇活動内容 事業部内共通で使っているフォーマットの見直しや、副責任者が話せる会議を設けることで正規職員それぞれが他事業所の職員と話す機会ができ、事業所格差を減らし、職員の視野を広げていくことに努めてきました。
- ◇成果 フォーマットの統一や、新たな会議体「主ベリ場」を行うことで、施設の「独自ルール」の減少に繋がりました。しかし、過去に事業部でルールを決めた意図が十分に伝わっていない、また研修後に実践として活かしているかなどの後追いをしていないことが、職員の成長につなげられていない要因だと考えています。次年度は「後追い」を課題としていきます。

【板橋4施設再受託 +1】

- ◇活動内容 区へ提出する提案書の見直し、各施設のサービス管理者が施設を運営する上で掲げている理想と求められていることをつなげて語れるようになるための対話、プロポーザルの練習を行いました。
- ◇成果 各施設数年に一度必ず来る再選定に向け、スケジューリングの仕方や提案書の考え方、プロポーザル時に語れるべきことなど、理事長、事業統括部長と共に進めていくことで学んでいくことが出来ました。結果は4施設の再受託となりました。+1施設が取れなかった部分は課題であり、他事業者から奪うだけの魅力の創造や、顧客視点で事業を考えること、事業部としての知見を深めることが今後取り組んでいくべきこととなります。

江東きつずクラブ豊洲四丁目

【職員の状況】

職名	令和4年4月1日の職員数				年間就任・退任							令和5年4月1日の職員数			
	(内休業職員数) 正規職員	有期契約職員		計	正規職員	有期契約職員				計	(内休業職員数) 正規職員	有期契約職員		実人員合計	
		常勤	非常勤			常勤		非常勤				常勤	非常勤		
						就	退	就	退						就
施設長	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
補佐1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
補佐2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般職員	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	-1	1	0	0	1
非常勤職員	0	0	6	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	6
登録型 パートタイマー	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	1
計	3	0	7	10	0	1	0	0	1	1	-1	3	0	7	10

【施設運営状況】

- 2022年度は正規職員1名が異動してきました。既存職員が新入職員を受け入れることに慣れていないことや、組織価値観が十分に伝わらなかったことで度々職員同士の衝突がありました。結果的に2月で退職する形になりましたが職員育成や仕組み作りについて考える機会になりました。
- 様々なことにおいてコロナの対応が緩和されたので、戸外に出る機会を多く設けました。大きなイベントとしては、観劇会、お別れ遠足（上野動物園）、ドッジボール大会です。公共の場でのマナーを学ぶだけではなく、挨拶や立ち居振る舞い、感受性を高めること等に繋がりました。
- 東京都動物愛護相談センターや子供地球基金など、外部団体との交流を多く持ちました。普段とは違う活動は児童に魅力的な活動を提供するだけでなく、職員にとっても「難しい話を子どもたちに分かるように説明する」を学ぶ機会となりました。
- 土曜運営は専属職員を3名採用し、毎週5人体制で組むことが出来ました。専属の職員がいることで、職員配置だけではなく、児童や保護者にとっての安心や信頼関係を築くことに繋がりました。支援児童による他害行為や、施設から出てしまった事故など、トラブルは多かったものの大きな事故や怪我にならずに済んだのは、専属職員の仕事への意欲と責任感があったからだと思います。

【利用者支援状況】

- 個人面談は出来ませんでしたが、保護者会は計3回行うことが出来ました。保護者の交流を目的とした「遊びの紹介・体験」や「子ども自慢、自分の子ども時代」の話をする時間を設けました。私たち職員も保護者のことを知る良いきっかけになりました。

【施設整備状況】

[区から準備した物品] サーキュレーター、机
 [法人で購入した物品] インカム

【年間利用状況】 (各月平均利用数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
平日	13	12	12	12	12	10	10	12	10	9	11	12	135	11.25
土曜	14	14	11	13	9	14	14	11	12	11	13	11	147	12.25
計	27	26	23	25	21	24	24	23	22	20	24	23	282	23.50

【利用者在籍状況推移】 (各年度3月1日現在)

年度	平日
令和2年度	27
令和3年度	22
令和4年度	19

【主なできごと】

4月：タイムカプセル・自己紹介カード
 5月：花壇（草むしり）・盾作り
 6月：とよ4検定（けん玉・オンリーワン）・図書館貸し出し開始
 7月：よんカフェ・水遊び
 8月：夏祭り・観劇会・貼り絵工作
 9月：交通安全教室・動物教室・スポフェス・引き渡し訓練
 10月：ハロウィンパーティー
 11月：豊洲児童館遊び再開・消防署見学
 12月：お楽しみ会
 1月：伝承遊び・ワークショップ（子供地球基金）
 2月：節分・よんカフェ・とよ4検定（けん玉・オンリーワン）
 3月：お楽しみ会・卒室制作・お別れ遠足・ドッジボール大会
 ※毎月：誕生会、工作、おたより配り、避難訓練 実施
 毎週火曜日 英語であそぼう オンラインでの開催（30分間）

【苦情内容及び結果の公表】

件数	主な苦情内容	対応及び解決方法	
2件	土曜利用 保護者	<ul style="list-style-type: none"> ・支援児童の利用停止を求める声が江東区役所に届く。(他害が多い) 	<ul style="list-style-type: none"> ・江東区からの聞き取りがあり、保護者の特定は直ぐにできた。支援系の課長が様子を見に来て、「利用停止を命ずることはできない」内容を江東区から保護者向けに返信した。結果的に引越しを理由に退会した。
	近隣住民	<ul style="list-style-type: none"> ・裏庭にある花壇の使い方、声の大きさ、特定の職員への不快感があり、目隠しをして欲しいとの要望。 	<ul style="list-style-type: none"> ・住民の方との連絡は事業統括部長が対応してくださり、現場の対応としては、事業責任者の協力を得ながら花壇と住居の間にあるフェンスに目隠しネットを貼った。窓をあまり開けない、花壇に出る人数を限定、声の大きさに気を付ける等職員間で改めてルールを共有した。

【その他】

① 安全管理

● 避難訓練

- ・ 火災、地震、と場面を想定して毎月避難訓練を行いました。

● 健康管理

- ・ 児童の朝晩の体温を連絡帳に記入するように依頼し、体調管理に留意しました。
- ・ 職員も同様に検温、マスクの徹底をしました。体調が少しでも悪いときは相談してもらい勤務可能か確認しました。
- ・ ケガや体調不良の児童については、一人だけでなく複数名で確認し、保護者には連絡帳や電話で必ず連絡を取るようになりました。

● 衛生管理

- ・ 来室時、活動前、活動後のアルコール消毒の徹底をしました。
- ・ 感染予防の強化として室内消毒を増やしました。チェックリストを作成し、漏れがなく掃除・消毒ができるような仕組みを作りました。
- ・ おもちゃの数を調節、運営後に消毒するなど工夫しながら感染対策をしていました。
- ・ 保護者に向けて、おたよりや入会説明会で「検温・マスク着用」の徹底を随時お願いしました。

● 安全管理

- ・ 始礼や終礼の場で全職員に情報共有及び注意喚起をしました。
- ・ 異物混入や体調変化の時の対応（成分確認）が出来るように毎日成分表と賞味期限のチェックを行い、提供後1週間は成分が表示されている袋を保管していました。

② 地域交流

- ・ 毎月発行しているおたよりを児童と一緒に近隣保育園に配り歩きました。（ゆらりん豊四・豊洲保育園・KG豊洲）
- ・ 7月と2月に「よんカフェ」と称して3年生を連れて近隣のスーパーに「おやつのお買い物」に行きました。レジに並び、店員さんに話しかけられると不安そうに答えていましたが、お金を払い終わると得意げな表情で達成感を味わったようでした。2月は2回目になるので、児童がおやつを購入するだけでなく、自ら配膳をする等役割を増やしました。このイベントだけでも、3年生の成長を見ることができました。
- ・ 豊洲図書館からの団体貸し出しを6月から始めました。数人の児童を連れて、30冊ほどの本を借りました。本に興味を持つきっかけ作りや図書館の利用方法を学ぶことができました。
- ・ 1月に隣接しているKG豊洲と合同で「子供地球基金」の方をお招きして「ワークショップ」に参加しました。この時間は児童同士の交流だけでなく、職員とKG豊洲の園児との関わりを持つことで令和5年度の入会児童との関係性を築く時間となりました。この時間があったことで、「知っている先生」になったことは児童にとっても保護者にとっても「大きな安心材料」の一つになったと実感しています。
- ・ 11月に近隣の深川消防署の見学に行きました。ちょうど同日に豊洲小の3年生も授業で見学に行く予定という情報を得たため、少人数だからこそできることを依頼し消防車に乗らせてもらったり、道具を持たせてもらったりしました。後日、消防士さんに向けた手紙を書いてお礼を伝えるに行きました。
- ・ ドッジボール大会が3年ぶりに開催され、近隣のきっずクラブ4校と交流を持つことができました。特にきっずクラブ三丁目ときっずクラブ豊北とは、大会前に何度か練習試合をすることが出来ました。令和5年度に入会予定の支援児童がきっずクラブ三丁目に在籍していることもあり、児童についての情報交換もスムーズに行うことが出来ました。

志村第六小学校あいキッズ

【職員の状況】

職名	令和4年4月1日の職員数				年間就任・退任								令和5年4月1日の職員数			
	(内休業職員数) 正規職員	有期契約職員		計	正規職員	有期契約職員				計	(内休業職員数) 正規職員	有期契約職員		実人員合計		
		常勤	非常勤			常勤		非常勤				常勤	非常勤			
						就	退	就	退						就	退
施設長	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	
補佐1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	
補佐2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
一般職員	5	0	0	5	0	1	0	0	0	0	-1	4(1)	0	0	4(1)	
非常勤職員	0	0	18	18	0	0	0	0	8	5	3	0	0	22(1)	22(1)	
登録型 パートタイマー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	
計	7	0	18	25	0	1	0	0	8	5	2	6	0	23	29	

【施設運営状況】

- ・ 2年ぶりに利用制限が無い状態で、新年度を迎えました。初日には、さんさんタイム(一般登録)の子どもの来室もあり、毎日130名～180名の子どもたちが利用していました。
- ・ 保護者や学校の先生方に依頼をして、子どもたちが作った作品の投票や日頃の子どもたちの様子で思わずクスッと笑ってしまうエピソードへの「あるある投票」に参加をしていただきました。あるある投票では、迎えにきた保護者が子どもと一緒に掲示板を見ながら楽しそうに話している様子が多く見受けられました。
- ・ コロナ感染対策として、学校の対応に合わせたマスクの着用と昼食や補食時には一方向を向いて食べるようにしました。子どもたちの人数が多く向かい合う状況となってしまう時には、パーテーションを使用し感染拡大防止の徹底を行いました。

【利用者支援状況】

- ・ 夏の保護者会に参加された家庭を対象に「親子収穫体験」を今年度も実施しました。外国籍で目が不自由な保護者も参加され、「野菜が実っている状態に初めて触れた」と喜んでおられました。
- ・ 子どもたちの様子やトラブルについて学校と情報を交換し共有しながら対応しました。また必要に応じて保護者に連絡をして日頃の様子を伝え、面談の時間を設け家庭での様子をうかがいながら保護者にあいキッズでの対応を伝えています。

【施設整備状況】

[区が準備した物品]	パーテーション
[法人で購入した物品]	なし

【年間利用状況】（各月平均利用数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
きらきら オレンジ	153	156	149	143	112	144	143	141	134	122	126	122	1645	137.08
さんさん	18	19	18	17	8	16	18	19	17	16	15	15	196	16.33
計	171	175	167	160	120	160	161	160	151	138	141	137	1841	153.42

【利用者在籍状況推移】（各年度3月1日現在）

年度	きらきら	全児童
令和2年度	208	381
令和3年度	224	358
令和4年度	230	370

【主なできごと】

- 4月：しっぽとり、しおり作り、キラキラ工作、こいのぼり工作、ギャッジTHE10、宝探しゲーム
- 5月：こいのぼり工作、メッセージカード作り、みんなで走ろう、アイロンビーズ、チャンバラ大会、交通安全指導教室
- 6月：なぜなゼルール、スタンプであそぼう、食育の話、七夕工作
- 7月：七夕制作、ダブル大会、七夕飾り付け、UNO大会、フラフープ遊び、おはじき積み、ピンポンパン、マンカラ講習会、新聞紙ポイポイチャレンジ、子どもチャレンジ、人間将棋、チュックボール、ボウリング、マンカラ大会、泥だんご作り、リーダー当てゲーム
- 8月：チュックボール大会、レジキョーホルダー工作、水鉄砲工作、水鉄砲遊び、クラフト工作、チャレンジカップKOM杯、アイロンビーズ、アートで遊ぼう、紙漉き、お弁当工作、風車工作、木登りセミ工作、ファンルーム、プラバン工作、マジックハンド工作、ミニ縁日、スライム工作、のび〜る棒工作
- 9月：泥だんご投票、ジェンガ大会、UNO大会、ビーズストラップ作り、チュックボール大会、ロケット工作、たいそう教室、じゃんけん列車ゲーム、みのむし工作、リレー大会
- 10月：しっぽとり、チャレンジカップKOM杯、プラバン工作、スライム工作、マンカラ大会、リレー大会、ハロウィンハット工作、ハロウィン工作
- 11月：子どもチャレンジ、たいそう教室、ドッジボール大会、ポンポン工作、みんなでダンス、クリスマスリース工作
- 12月：チャレンジカップKOM杯、リレー大会、ドッジボール大会、たいそう教室、マカロニリース工作、サッカー大会、クリスマス工作、クリスマスお楽しみ会、
- 1月：凧工作、凧あげ、マンカラ大会、サッカー大会、たいそう教室、ドッジボール大会、将棋大会、スライム工作、
- 2月：コマ作り、豆まきゲーム、マラソン週間、バレンタイン工作、たいそう教室、カプセルアート、雛あられバッグ工作、なぞルールテスト
- 3月：ドッジボール大会、サッカー大会、たいそう教室、マンカラ大会、貝がら工作、お楽しみ会、

※ 英語であそぼう 毎週木曜日 リモートにて実施

- ※ しゅくだい先生 隔週水曜日
 ※ サポーター事業 読み聞かせ（毎月第二火曜日）、クラフト教室（毎月1回金曜日）、
 けん玉教室（毎月1回）
 ※ 農園活動 12月まで随時実施

【苦情内容及び結果の公表】

件数	主な苦情内容		対応及び解決方法
1件	2年 きらきら 保護者	傘を取り違えられたので、残っていた傘を差して帰宅させたところ、差して帰ってきた傘（人の傘）が壊れてしまった時の確認をされた。	全児童分ではないが、貸し出し用の傘を5本購入した。
1件	3年 きらきら 保護者	3年生以上は出欠管理のみと認識をしていた。帰宅時間の記載が無かったので子どもが不安に感じ、職員に帰宅時間の記載についてあいキッズカードに書いてほしいと言ったが断わられたと話している。	3年生以上は基本的には出欠欄の記入だけでよいことを伝え、コメント欄に記載してあげられなかったことをお詫びした。また全職員に、出欠管理と時間管理の対象学年について改めて周知した。
1件	2年 きらきら 保護者	帰宅する時に校帽が見当たらなくなったため、職員が探しておくと言っていた。その後何日も連絡がない。	職員で再度探したところ、記名の無い校帽が見つかった。保護者に時間が掛かってしまったことと連絡が遅くなってしまったことをお詫びし、校帽を返却した。
1件	3年 さんさん 保護者	英語で遊ぼうの参加を希望したところ、職員から「対象は1年生」と言われ参加できなかった。お便りのどこに対象学年が書いてあるのか教えてほしい。	学年の制限は設けていないことを伝え、職員が誤った認識で伝えてしまったことをお詫びした。翌週から2年生以上の児童に参加の声掛けをした。
1件	3年 きらきら 保護者	出欠確認の連絡が遅い	心配と不安な思いをさせてしまったことをお詫びした。出欠確認は、児童の来室が落ち着いてから1件ずつ電話で確認をしているため時間を要してしまうことを説明しご理解をいただいた。
3件	2年、3年 きらきら 保護者	欠席連絡を入れていたのに、出欠確認の電話があった。	連絡をもらっていたにも関わらず、電話をしてしまったことをお詫びした。職員には、出欠確認の電話を保護者にする前に、電話メモやあいキッズカードのコピーの確認をするように周知した。
1件	4年 きらきら 保護者	欠席予定だったが来室をした。帰宅が遅いのを心配した保護者が学校に問い合わせ、所在確認に来所した保護者から「欠席なのに来室しているなら、あいキッズが連絡をしてくるのが基本ではないのか」。	担任からあいキッズに来室の有無の連絡があった。担任の「こちらで対応します」の言葉に甘え、保護者への連絡が遅くなってしまった。心配と不安な思いをさせてしまったことをお詫びした。職員には、分かった時点で保護者に連絡を入れて確認をすること。欠席予定なのに来室しているのは、来室予定なのに来ない事案と同じレベルであることを周知した。
1件	4年 きらきら 保護者	保護者が迎えに来たが遊びが切り上げられず保護者はそのまま帰られた。その後児童の希望で保護者に迎え依頼の電話をした時、「どのくらいでこれですか？」と言われた。	職員の言葉遣いの不手際を謝罪した。

1件	3年 さんさん 保護者	友だちから叩かれたと職員に訴えたところ、「嫌なら帰れば？」と言われ子どもは予定時間より早く帰宅した。家に誰も居らず、鍵を持たせてないので、子どもは玄関の前で座って待っていた。職員の対応としていかなものか。	職員から聞き取りをしたが対応をした職員は見つからなかった。職員には、不適切な対応が子どもの心を傷付けることがあること、そして事故に繋がりがねないことを周知する旨説明し、ご理解いただいた。
1件	2年 きらきら 保護者	「子どもをすぐに帰宅させてほしい」と電話を受けた職員が児童の名前を聞き間違え、違う児童を帰宅させてしまった。間違えられた児童はその後「家に誰も居なかった」とあいキッズに戻ってきたため保護者に電話をしたところ、帰宅時間変更の電話はしていないことが分かった。保護者からは「今回は事故に繋がらなかったが、安心して預けられない。なぜこのようなことが起きたのか」。	心配と不安な思いをさせてしまったことをお詫びした。職員の名前の聞き間違いと電話での一人帰りの帰宅時間の変更は「なりすまし防止」のため掛かってきた電話を切った後、再度こちらから保護者に確認の電話を入れることになっていたが、その工程がなされていなかったこと。また受けた電話を復唱して確認することができていなかった人的ミスだったことを伝え謝罪した。
1件	3年 きらきら 保護者	「足を怪我しているため、校庭遊びをさせないでほしい」と電話で伝えたのに、迎えにきたら校庭で遊んでいた。どういうことか。	状況を確認した後、周知がしっかりされていなかったことが原因だったためお詫びをした。電話を受けた職員はインカムで他の職員に伝えたが一部の職員にしか伝わっていなかった。インカムで伝える時には複数人から返事があったことを確認するように周知した。

【その他】

① 安全管理

● 防災訓練

- ・ 地震や火災に備えた避難訓練を10回実施しました。

● 健康管理

- ・ アレルギー児童へは保護者と面談の上、安全な補食を提供できるように配慮しました。主に複数名での確認、アレルギー児童は専用のお盆にて提供をしています。
- ・ 受付時に児童への視診や声かけを行い、体調の悪そうな児童には早期に対応しました。
- ・ 気温が高い日は、外遊びの合間に水分補給の休憩時間を設けて、児童及び職員の体調管理に努めました。また、マスクの着用については、学校の対応に合わせ、休憩の際にマスクを外して呼吸を整えるよう声掛けを行いました。

● 衛生管理

- ・ 多くの人が触れる特定の箇所（手すり、ドアノブ、電話、スイッチなど）を毎日消毒することを続けています。
- ・ 児童来室時には職員が手洗い場に立ち、石鹸を使った手洗いの徹底を呼びかけました。また、活動の切り替えのタイミングで手を洗うようにしました。
- ・ 毎日、補食配膳担当者が衛生点検を実施しています。

● 安全管理

- ・ 台風や地震の後に施設を点検し破損個所の確認をしました。

② 地域交流

- ・ 「あいキッズ運営協議会」を年2回開催しました。7月に開催した1回目の運営協議会では、委員のみなさんに子どもたちが過ごしている様子を実際に見ていただきました。「想像していたより子どもの人数が多くて驚いた」「子どもたちが本当に楽しそうに遊んでいた」等たくさん感想をいただきました。次年度に向け繋がり続けるためにも、毎月のおたより配りは続けています。
- ・ 板橋コミュニティースクール（ICS）の委員として開催される協議会に参加しました。
- ・ 蓮根図書館から定期的に本を借り学習時間中に読めるようにしています。
- ・ 近隣保育園のひまわりキッズガーデンの5歳児にさつまいもの苗植えと収穫を体験してもらいました。また、小学校入学に向け、あいキッズの利用に期待を持ってもらえるように企画しました。

大谷口小学校あいキッズ

【職員の状況】

職名	令和4年4月1日の職員数				年間就任・退任						令和5年4月1日の職員数				
	(内休業職員数) 正規職員	有期契約職員		計	正規職員	有期契約職員				計	(内休業職員数) 正規職員	有期契約職員		実人員合計	
		常勤	非常勤			常勤		非常勤				常勤	非常勤		
						就	退	就	退						就
施設長	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
補佐1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補佐2	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般職員	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
非常勤職員	0	0	10	10	0	0	0	0	5	3	2	0	1	14	15
登録型 パートタイマー	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
計	3	0	11	14	0	0	0	0	5	3	2	2	1	16	19

【施設運営状況】

- 2022年度はコロナ感染防止対策に取り組みつつ、その中で取り組めることを少しずつ増やしていく一年でした。可能な限り制限のない関わり合いができるように、遊具に関しては使用後に手洗い・消毒はこまめに行うこと、児童同士の関わりや会話についてもきちんとマスク着用することの呼びかけを徹底しました。
- 職員の定数配置人数が年度の途中で変更となりました。支援児対応が1名、児童の登録人数増加に伴う規模拡大により2名、合計3名増員となり、職員の定数配置が10名から13名に増えました。職員数が増えたことによる情報共有や職員連携が課題となりましたが、研修を通して児童の特性についての理解を深め、面談を実施し他職員の考えや想いを知りながら協力体制を構築することに努めました。

【利用者支援状況】

- あいキッズでの児童のできごとや様子については、保護者のお迎え時や電話でお伝えすると共に、家庭での様子も伺い情報の共有をしました。
- 配慮の必要な支援児の関わり合いに関して、保護者をはじめ学校や外部の機関の方とも連携を取りながら、特性の理解に努めました。
- あいキッズ利用への不安を減らしてもらうため、12月に「申請説明会」、3月に「利用説明会」を実施しました。また、2月には学校の「新一年生保護者会」でもお時間を頂き、あいキッズの概要説明と手続きについてお伝えしました。

【施設整備状況】

[区が準備した物品] なし

[法人で購入した物品] なし

【年間利用状況】 (各月平均利用数) 《さんさん一般は年間を通して利用中止》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
きらきら オレンジ	86	89	89	84	67	84	84	78	80	76	76	67	960	80.00
さんさん	13	14	20	19	8	15	15	14	17	12	16	11	174	14.50
計	99	103	109	103	75	99	99	92	97	88	92	78	1134	94.50

【利用者在籍状況推移】 (各年度3月1日現在)

年度	きらきら	全児童
令和2年度	94	312
令和3年度	105	336
令和4年度	131	356

【主なできごと】

- 4月：一年生タイム、こどもの日工作
- 5月：お弁当工作（食育）、日本を知ろう（京都府）、金融リテラシー、
- 6月：七夕工作、キックベース、マンカラ大会
- 7月：紙コップ飛行機工作、日本を知ろう（石川県）、SDGs カプセルアートイベント
- 8月：スライム工作、プラバン工作、アイロンビーズ工作
- 9月：十五夜ピカピカどろだんご、テニポン、日本を知ろう（兵庫県）、イラスト教室
- 10月：わくわく科学実験（紙すき）、ハロウィン・キャンディバッグ工作、
- 11月：あみものクラブ（ポンポンマスコット作り）、クリスマスツリー工作、日本を知ろう（秋田県）
- 12月：あみものクラブ（クリスマスコースター作り）、わくわく科学実験（スーパーボール作り）、
ハンドベル発表会、レッツ大掃除
- 1月：あみものクラブ（あったかマフラー作り）、正月あそび（凧あげ、羽根つき、かるた大会）、
節分工作、ウォーミングアップチャレンジ、
- 2月：節分ゲーム大会、ひなまつり工作、日本を知ろう（長崎県）
- 3月：わくわく科学実験（空気砲）、キックベース、将棋大会、琴発表会、ハンドベル発表会、
ちゃんばら発表会、新体操発表会、イラスト教室
- ※英語で遊ぼう 毎月3回 オンラインにて実施
- ※サポーター事業 将棋、琴教室、バドミントン教室、新体操教室、イラスト教室

【苦情内容及び結果の公表】

件数	主な苦情内容	対応及び解決方法	
1件	2年保護者	出欠予定に関して、職員から何度も連絡があった。電話で、予定を書いたあいキッズカードを子どもに持たせると職員に伝えたが、職員は確認しなかった。職員は連携していないのか。	出欠予定管理としてあいキッズカードをコピーすることが定着しておらず、職員間でしっかり確認をせずに連絡してしまった。職員間で情報を共有できる仕組みを確立させ、再発防止に努めることを約束した。
1件	5年保護者	避難訓練の時、先生に注意され肩をすごい勢いでたたかれ痛かったようだ。できれば口で言って頂きたい。	本人と該当職員に事実確認をしたところ、職員が女兒を叩いた事実はなかったが、訓練中で緊張感のある伝え方だった為、その後のフォローが必要だった。また連絡を頂いてから回答に時間がかかってしまい申し訳なかったと謝罪した。

【その他】

① 安全管理

● 防災訓練

- ・ 火災や地震などの災害時を想定した避難訓練を毎月実施しました。（内、引き渡し訓練1回、防犯訓練1回含む）
- ・ 防犯訓練では、警察署より借りた不審者訓練に関するDVDを鑑賞し、登下校や一人で道を歩いているときに不審者に遭遇した場合の注意事項などを確認しました。

● 健康管理

- ・ アレルギー児童へは保護者と面談の上、安全な補食を提供できるように配慮しました。
- ・ 受付時に児童への視診や声かけを行い、体調の悪そうな児童には早期に対応しました。
- ・ 猛暑の時期には、暑さ指数（WBGT）に基づき、31℃以下の外遊び可能な日のみ屋外で遊び、水分補給の休憩時間を設けて、児童及び職員の体調管理に努めました。また、マスク着用時には、マスクを外して呼吸を整えるよう呼びかけました。

● 衛生管理

- ・ 毎日、補食配膳担当者が衛生点検を実施しました。
- ・ 児童には手洗い・消毒の励行の呼びかけをし、ハンカチ持参が習慣化するように努めました。
- ・ 児童の使用する玩具や施設内の手の触れる部分（ドアノブ、電気スイッチ、手すり、テーブル、椅子など）の消毒を日々実施しました。
- ・ 学習や補食提供時は同じ方向を向き座り、マスクを外している時には話をしない、人との距離を空けることを励行の呼びかけをしました。

● 安全管理

- ・ 事故や怪我が起きないよう、活動前には施設内・校庭の点検を行いました。
- ・ 職員配置に不備のないよう、毎日のミーティングで確認してから児童対応を行いました。

② 地域交流

- ・ 毎月発行している『あいキッズ便り』は、学校を通して全校児童に配付するとともに、運営協議委員や補食提供で取引のある地域の商店、サポーター講師の方にお配りすることを続けています。
- ・ 近隣保育園の児童との交流や、保育園の年長組の保護者会にて、あいキッズの利用に関する説明の機会をいただきました。
- ・ 小茂根図書館の図書の定期貸し出しを利用しています。また、あいキッズで行った工作の作品や子どもたちが制作した「あいキッズしんぶん」、毎月発行しているあいキッズ便りを展示・掲示してもらっています。
- ・ 6月、2月に『あいキッズ運営協議会』を開催しました。校長、学校関係者、地域サポーター、町会長などに委員をお願いし、あいキッズの目的や活動をお伝えし、皆様からは今後の運営に対する貴重なご意見を頂くことができました。

上板橋第二小学校あいキッズ

【職員の状況】

職名	令和4年4月1日の職員数				年間就任・退任						令和5年4月1日の職員数				
	(内休業職員数) 正規職員	有期契約職員		計	正規職員	有期契約職員				計	(内休業職員数) 正規職員	有期契約職員		実人員合計	
		常勤	非常勤			常勤		非常勤				常勤	非常勤		
						就	退	就	退						就
施設長	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
補佐1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補佐2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般職員	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
非常勤職員	0	0	13	13	0	0	0	0	10	11	-1	0	0	13	13
登録型 パートタイマー	0	0	2	2	0	0	0	0	0	1	-1	0	0	1	1
計	2	0	15	17	0	0	0	0	10	12	-2	2	0	14	16

【施設運営状況】

- 2022年度は【井戸端会議戦略】と名付けて運営をしました。職員の発揮している力が子どもたちのためになる。そして、その思いを共有出来るチームを目指して取り組んできました。共有をするためにはまず個々の考えの差を埋めること、そのためには話をすることが大切だと考え、次年度も継続していきます。
- 学校施設をお借りしながら運営しているため、使用方法や片付けについてのずれがないように日々職員・児童共に話をしながら進めています。

【利用者支援状況】

- 感染状況に合わせた対策（マスク着用、手洗い、パーテーション設置等）を行いながら、工作や運動遊びを実施しました。
- 定期的に学校と児童の様子や感染対策について共有しながら運営しました。
- 学級担任や養護教諭、スクールカウンセラーと情報共有を重ね、子どもたちへの対応に差が出ないようにしてきました。
- 保護者にあいキッズでの様子をこまめに連絡するように心がけました。

【施設整備状況】

[区から準備した物品]

- ・座卓（ひまわりの部屋用5台）
- ・コスモス玄関外の軒下の剥がれの修繕

【年間利用状況】 (各月平均利用数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
きらきら オレンジ	88	86	86	81	62	83	86	84	76	77	80	75	964	80.33
さんさん	7	4	6	5	6	3	3	3	3	2	4	4	50	4.17
計	95	90	92	86	68	86	89	87	79	79	84	79	1014	84.50

【利用者在籍状況推移】 (各年度3月1日現在)

年度	きらきら	全児童
令和2年度	146	190
令和3年度	138	199
令和4年度	137	218

【主なできごと】

- 4月：1年生タイム、校庭探検、イースターエッグの折り紙
5月：なかよしタイム、世界の遊び『クップ』、マンカラ大会、折り紙のお花カード
6月：七夕工作、食育イベント、世界の遊び『モルック』
7月：卓球コーナー、チャンバラフェンシング、世界の遊び『ボッチャ』
8月：船工作、世界の遊び『しっぽ喰い蛇』、ミニゲーム大会、先生と対決！
9月：ピカピカ泥だんGO!、お月見の折り紙、世界の遊び『岩の上のコマ』
10月：ハロウィン工作、トランプ大会、スポーツ大会
11月：折り紙メダル作り、ドッジビー大会
12月：あみあみ工作、クリスマス工作、年末お楽しみ会
1月：凧揚げ工作、虎の折り紙、大縄に挑戦、あみあみ工作、世界の遊び『ハウハバンデイラ』
2月：世界の遊び『Sけん』、マンカラ大会、ひなまつり工作
3月：年度末お楽しみ会、チューリップの折り紙、ドッジビー大会、風船バレー大会

※月3回水曜日 英語であそぼう オンライン実施

※毎月5と10のつく日 検定(コマ、けん玉、縄跳、鉄棒、一輪車)を実施

※毎月1週間 むりえ、LaQ、レゴの3種類のコンクールを交互に開催

※月2～3回 イナズマサッカー

※月1回 だいやのエース、なでしこサッカー、さむらいサッカー

※サポーター事業 読み聞かせ(7、8月中止)、将棋教室(7月～9月、11月～3月中止)、卓球教室(8、3月中止)、アイリッシュハーブ(4月、6月実施)

【苦情内容及び結果の公表】

件数	主な苦情内容	対応及び解決方法	
1件	3年保護者 きらきら	子どもに対する理解が職員によって異なっている。止められることが苦手なのに分かってもらえず、結果苦しんでいる。	苦しめてしまっていたことを謝罪した上で、特性については周知をしているが、出勤日数の差によって関係性が異なっていることへの理解をいただけるよう話をした。
1件	4,5年保護者 きらきら	子どもの昼食時、部屋で見回る先生がお弁当を見て「おいしそう」と言ったり言わなかったりすると子どもから聞いた。親はプレッシャーになる、子どもも苦しいからやめてほしいと前年度に伝えたが、また同様の事があった。	嫌な気持ちにさせてしまっていたことへの謝罪をし、全職員に周知し改善することを伝えた。
1件	2年保護者 きらきら	あいキッズに行きたがらない。理由はすごく怒られるからだと言っている。	主に学習時間や職員が話をする場面で、騒いでいたり立ち歩いていることから注意をする場面がある事をお伝えした。ただ厳しくしすぎてしまっていた可能性があること、気持ちに寄り添えていなかったことを謝罪した。

【その他】

① 安全管理

● 防災訓練

- 地震や火災に備えた避難訓練を10回実施しました。

● 健康管理

- アレルギーがある児童の保護者と定期的に話をして都度情報を更新していきました。
- 活動中の水分補給や手洗い、着衣の調整など時期に合わせ必要な対応をしていきました。マスクの着用については、学校の対応に合わせました。
- 児童が来所した時に、顔色や声色を確認し、日々の体調の変化に気を付けてきました。

● 衛生管理

- 毎日、補食配膳担当者が衛生点検を実施しました。
- アレルギーチェックのやり方を確認し、どの職員もアレルギー児童と食品成分に対する理解を持つと共に、ダブルチェックの抜けがないようにしました。
- コロナ対応で児童の座り方は基本的には同一方向を向き三密に注意して運営してきました。また、人数が多い場合には対面で座ることになるためパーティションを使用しました。日々消毒作業を行っています。

● 安全管理

- 前日に起きた怪我やトラブルは始礼時に共有し同じことが起こらぬよう対策の検討をしました。
- 校庭の安全チェックは、校庭遊び前に危険物の除去や遊具の点検を行い事故に繋がらないよう努めてきました。

② 地域交流

- あいキッズ運営協議会を6月と3月に対面で開催しました。6月は令和3年度行政評価についての説明とあいキッズの活動紹介、プロポーザルの説明を行い、3月は運営の振り返りと次年度に向けた地域交流、保護者目線でのあいキッズへの要望について意見交換を行いました。
- キッズガーデン小茂根の年長児童へ、毎月あいキッズ便りを配付しました。
- キッズガーデン小茂根、大谷口保育園、茂呂塾保育園と交流をしました。実施内容は3園共通で、園児が午前中にあいキッズを来訪し、室内での遊び体験をしたことです。キッズガーデン小茂根と大谷口保育園では、年長組の保護者を対象に、「あいキッズとはどんな場所でどんな過ごし方をしているのか？」という説明会を大谷口小あいキッズと合同で開催させていただきました。また、キッズガーデン小茂根にはあいキッズ職員が出向いて遊びの提供を2回行いました。
- 小茂根図書館から児童の学習時間向けの図書を定期的に借りています。

志村坂下小学校あいキッズ

【職員の状況】

職名	令和4年4月1日の職員数				年間就任・退任						令和5年4月1日の職員数				
	(内休業職員数) 正規職員	有期契約職員		計	正規職員	有期契約職員				計	(内休業職員数) 正規職員	有期契約職員		実人員合計	
		常勤	非常勤			常勤		非常勤				常勤	非常勤		
						就	退	就	退						就
施設長	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
補佐1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
補佐2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般職員	5	0	0	5	0	1	0	0	0	0	-1	3	0	0	3
非常勤職員	0	0	11	11	0	0	0	0	4	2	2	0	0	12	12
登録型 パートタイマー	0	0	3	3	0	0	0	0	1	3	-2	0	0	1	1
計	6	0	14	20	0	1	0	0	5	5	-1	5	0	13	18

【施設運営状況】

- 2022年度は『利用者の声に耳を傾けることのできる職員集団』をあるべき状態として運営してまいりました。利用者が求めている安心、安全な運営だけではなく、色々な体験ができる時間を提供できるように毎月の活動を考えました。3年生以上については「わくわくキッズタイム」という行事内容を一緒に考える機会も取り入れていきました。あいキッズで自ら「やりたいこと」を考えることは子どもの自主性を育て、意欲を引き出すことに繋がったと感じています。
- 学校との連携において、日々の挨拶や、学校内での感染予防対策についての情報共有、児童についての情報を共有するように努めました。また、日々の活動拠点の清掃、消毒を欠かさず行うことで、以前よりも使用できる教室を増やしていただきました。次年度は、登録人数の増加が見込まれるので、引き続き学校との良好な関係を深めていけるように、あいキッズ側からの情報発信に力を入れていきたいと考えています。
- チーム内の業務分担を再考し、業務の可視化を進めることで、進捗の確認ができるだけでなく、互いに助け合うことが出来る仕組みを作りました。まだ、誰かに負担が偏ってしまうこともありますが、チーム全体で効率的に進めることが出来るように、年間スケジュールを決めて見通しを持って全職員で業務にあたりたいと思います。
- 課題であった定物定位置については、片付けの目印になるようにラベリングをしたことで、職員一人ひとりが意識して元の場所にもどせるようになりました。まだ完全に出来ているわけではないので、次年度も継続して確認していきます。
- 職員からの意見や、疑問点をまとめ、回答をした際にその場にはいない職員でもわかるように事務連絡で変更点をまとめました。

【利用者支援状況】

- ・ 保護者がお迎えに来た時に、その日の様子を伝えていくように心がけました。感染予防に努めていることや、工作教室などの行事のお知らせを伝えることで、取り組みを知っていただくことができました。児童の日々の活動では、制限が緩和されてはいるものの、大人数で密集することを避けた活動を提供することが出来ました。
- ・ 保護者や児童より、友人関係・あそび・健康についての相談があった際には丁寧に聞き取りを行い、状況に応じて面談や、話し合いの場を作るようにしました。
- ・ 学校との連絡・連携が重要と考え、副校長とだけでなく、状況に応じて各クラスの担任とも互いに児童に関する情報の交換や共有を図りました。学校担任からの相談件数も月を追うごとに少しずつ増えてきました。また、あいキッズが体育館や校庭を利用する際に、先に予定を伝えることで他の団体よりも優先して使用することが出来るようになりました。
- ・ 指導記録や児童の前日の様子をまとめた資料を用いて、職員間で情報の抜け漏れがないようにしました。また、重要な情報に関しては始礼の場で全職員が知ることができるよう継続して伝えていくようにしました。

【施設整備状況】

[区で準備した物品] パーテーション：14台、座卓：8台、防犯カメラ：1台、防犯モニター：1台
 [法人で購入した物品] 電子レンジ：1台、長テーブル：3台

【年間利用状況】 (各月平均利用数) 《さんさん一般利用開始は8月から》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
きらきらオレンジ	130	139	132	123	101	121	118	114	110	105	107	105	1405	117.08
さんさん	18	13	14	16	13	19	17	22	20	18	16	11	197	16.42
計	148	152	146	139	114	140	135	136	130	123	123	116	1602	133.50

【利用者在籍状況推移】 (各年度3月1日現在)

年度	きらきら	全児童
令和2年度	182	567
令和3年度	200	566
令和4年度	201	568

【主なできごと】

- 4月：下敷き工作、障害物競争、リレー大会
 5月：新聞紙大作戦、キックベース、ミッションゲーム
 6月：フラフープ記録会、何でもリレー、スポッピン大会
 7月：折り紙アート、人間すごろく、ミッションゲーム
 8月：スポッピン大会、ミッションゲーム、カプセルアート
 9月：カチカチ選手権、ピンポンパン、キックバック
 10月：縁日あそび、クイズ大会、ビンゴ大会
 11月：ミッションゲーム、ユニット折り紙、ミサガ教室
 12月：ギャッチ記録会、人間将棋、シーボー、ミッションゲーム
 1月：巨大すごろく、コマ回し大会、羽根つき
 2月：ストラックアウト、ポートボール、野球
 3月：お楽しみイベント、ミニサッカー大会、野球、お楽しみスポーツデイ

※毎月、避難訓練、ぬりえコンテストを実施しています。

- 毎週木曜日 九曜サッカー教室 水曜日月3回 英語であそぼう *オンライン開催
 毎週水曜日 バレーボールクラブ、毎月一回「Tからの挑戦状」
 毎月第二週 足し絵コンテスト 7月より毎月イラスト教室

【苦情内容及び結果の公表】

件数	主な苦情内容		対応及び解決方法
1件	3年 保護者	数名の児童に強く押されたり、上から乗られたり同時にされた。	保護者に電話で報告を入れ、加害児童宅にも報告の連絡を入れていることを伝えた。後日、保護者が直接来訪され、普段のあいキッズの様子を気にされていたので、約2か月間、2週に1回のペースで普段の様子を電話で伝えるようにした。
1件	3年生 保護者	あいキッズの注文弁当の申し込みをしたかったのに、用紙をもらえずに注文できなかった。以前は、注文が過去にあった家庭には電話をしてくれていたのに、無かった。あいキッズカードに用紙を欲しいとコメントをしたが返答がなかった。	以前まで、職員が気付きで提出されていない家庭に保護者迎えの際に、申し込みの有無を聞き取っていたが、全ての家庭に同様の内容を同時に伝えるためにメール配信に変更をしたことを伝えた。また、コメントに関しては児童があいキッズカードを持って来ていなかったため、施設では確認が出来ていなかったことを伝えた。今後の解決策として、あいキッズカード忘れが続いている時には電話にて知らせることを伝えた。
3件	3年生 保護者	職員から必要以上に水分補給を促された。飲みすぎて気分が悪くなることがあると伝えたが、職員が受け止めてくれなかった。	当該児童と該当職員への聞き取りを行い、双方の解釈にずれがあることが判明したので直接話をする機会を作った。その後、話し合った結果を保護者に口頭で伝えた。

【その他】

① 安全管理

● 避難訓練

- ・ 毎月、様々な場面を想定した避難訓練を行いました。コロナ禍で実際に避難をしての訓練ができないため、説明を丁寧に行い、実際に災害が起きたときに速やかに行動できるようイメージ共有をしました。8月以降は実際に校庭に避難をして、有事の際の動きを確認することが出来ました。
- ・ 下校時には交通ルールを守って安全に帰宅出来るように、必ず注意喚起をするようにしました。また、不審者に遭遇した時の対処法についても伝えるようにしました。

● 健康管理

- ・ アレルギー児童については、予め保護者にアレルギー調査票に記入してもらい、面談をして、慎重に配慮・対応しました。補食時にアレルゲンが入っている食品を提供する場合、対象の児童だけではなくアレルギー児童全員の補食を代替食で提供するようにしました。職員の誰もが正しい準備や配膳が出来るように、マニュアルを補食準備スペースに掲示をして、いつでも確認ができるようにしています。また、アレルギーだけではなく、賞味期限切れなどの事故も防ぐために毎月月末に確認をし、誤提供の防止に努めました。
- ・ 受付にて児童への視診を行い、体調の悪そうな児童には都度対応しました。
- ・ ケガをしてしまった児童や体調不良の児童について、状況に応じて一人の判断ではなく、複数の職員で確認を行いました。全職員が情報を共有できるように処置簿への記入を徹底しました。また、首から上の怪我に関しては、その後大きな体調の変化に繋がるかもしれないことを考慮して保護者に電話で状況を伝えることを徹底しました。

● 衛生管理

- ・ 担当者を決め、施設の衛生点検を随時行いました。
- ・ 補食やトイレ等の衛生管理状態を毎日点検し、チェック表への記入を行いました。

● 安全管理

- ・ 台風や地震の後に施設の破損個所の点検を行いました。
- ・ その日に感じたヒヤリハットを毎日全員が記入し、チーム内で共有することで危険に対する意識を高めました。必要に応じ、会議の議題として取り上げ、全職員に注意喚起を行いました。

② 地域交流

- ・ 「あいキッズ運営協議会」を年二回、予定通り対面で開催しました。委員の方々にはあいキッズの活動を見学していただき、地域との繋がりや、児童に身につけて欲しい力などの意見交換をすることができました。
- ・ サポーター事業は、密集とならないよう配慮しながらの開催となりました。また、講師の体調面での事情で開催ができなかった活動についてはメールにて定期的に連絡を行い、子どもたちが楽しみにしていることを伝え、今後も力を貸して頂けるようお願いしています。

若木小学校あいキッズ

【職員の状況】

職名	令和4年4月1日の職員数				年間就任・退任						令和5年4月1日の職員数				
	正規職員 (内休業職員数)	有期契約職員		計	正規職員	有期契約職員				計	正規職員 (内休業職員数)	有期契約職員		実人員合計	
		常勤	非常勤			常勤		非常勤				常勤	非常勤		
						就	退	就	退						就
施設長	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
補佐1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
補佐2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般職員	2	0	0	2	1	1	0	0	0	0	0	2	0	0	2
非常勤職員	0	0	16	16	0	0	0	0	0	4	-4	0	0	11	11
登録型 パートタイマー	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	2	2
計	3	1	17	21	1	1	0	0	1	4	-3	3	1	13	17

【施設運営状況】

- 職員間でのコミュニケーションが不足していたことで、暫く職員間での考え方にズレが生じていることがありました。前向きに話し合いを続けたことで、良好なコミュニケーションが取れるようになってきました。正規職員間の連携が安定し、パート職員に業務の十分な目的・意図の発信が出来るようになりました。職員間で目的理解のズレを発見し、確認と改善を繰り返しています。
- 苦手意識が生じて児童に向き合うことを避けるような職員の姿勢が一部に見られ、職員個々のスキルアップに取り組んできましたが、なかなか成果には結びつきませんでした。常勤職員からの働きかけ方を変え、事前の情報共有を丁寧にし、フォロー、サポートを中心に職員と関わるようにしたところ、コミュニケーションの活発化に繋がり、苦手なりに児童に関わろうとする職員の様子が見られるようになりました。職員が自走できる部分を今よりも増やしていけるようにやるべきこと、やれることの見える化と確認をしていきます。

【利用者支援状況】

- 学習支援として、「自ら学習すること」を目指しました。習慣付けのために、職員は児童への声掛けのタイミングや各部屋の児童数のバランス、また児童が集中しやすい環境を考えながら関わってきました。
- 板橋区が力を入れている「SDGs」に取り組んでいます。児童が興味関心を持てるよう、SDGsの絵本内容や関連する身近な出来事を紹介し、「カプセルアート」や「SDGs川柳」「SDGsモザイクアート」などを実施した結果、「SDGs」「地球にやさしい」という言葉を口にする児童が増えました。

- ・ 地域サポーターによる「ミニバス教室」を実施する予定でしたが、講師の都合により実施ができなくなりました。その代わりに、職員による体育館でのバスケットボール体験教室の時間を設けました。バスケットボールが初めての児童にとっても参加しやすい内容を心がけた為、参加人数は回数を重ねる度に増えています。
- ・ 職員間で児童受け入れ時の部屋対応や、受付の動きを確認したことで、個別対応などで職員配置に変更が生じる場合でもスムーズな連動や対応、必要情報のインカム発信、電波が届かない時の中継発信に繋がり、利用者へのストレスフリーな対応が出来てきました。

【施設整備状況】

[区から準備した物品] アルコール、マスク、座卓

[法人で購入した物品] なし

【年間利用状況】 (各月平均利用数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
きらきらオレンジ	119	119	112	108	82	106	104	101	101	92	93	94	1231	102.58
さんさん	8	11	13	14	13	10	10	9	12	9	11	14	134	11.17
計	127	130	125	122	95	116	114	110	113	101	104	108	1365	113.75

【利用者在籍状況推移】 (各年度3月1日現在)

年度	きらきら	全児童
令和2年度	162	368
令和3年度	188	342
令和4年度	185	345

【主なできごと】

- 4月：はじめて工作、こいのぼり工作、あいキッズ探検
- 5月：みんなdeあそぼう（しっぽとり）、ぬりえギャラリー、ドッジボール
- 6月：みんなでサッカー、ときねこクエスト、くねくねロード
- 7月：七夕工作、夏野菜収穫、ピカピカどろだんご
- 8月：ミニ夏祭り、ピカピカどろだんご、けん玉検定
- 9月：引渡し訓練、張りぼて工作、謎解きチャレンジ
- 10月：ハロウィン工作、逃走中、ドッジボール大会
- 11月：人間将棋タクティクス、まんから大会、かたき
- 12月：年末お楽しみ会、百人一首、ミッションケンパ
- 1月：伝承遊び（かまぼこ落とし、けん玉、コマ回し）、百人一首大会
- 2月：鬼退治豆まき、バレンタイン工作、マラソン、コネクトフォー大会
- 3月：おたのしみ会、VS職員、リクエスト遊び、ドボチョン

- ※毎月開催 クラフト教室
- ※毎月3回 英語であそぼうオンライン
- ※サポーター事業 読み聞かせ、そろばん教室
- ※寺子屋連携事業 今年度の予定はすべて中止

【苦情内容及び結果の公表】

件数	主な苦情内容		対応及び解決方法
1件	1年男児 保護者	児童同士のトラブル対応で、職員間のコミュニケーション不足により、連携が取れなかったことについて、対応に不信感を覚える。	職員の連携不足でご心配をお掛けしたことを謝罪。学校と連携しながら具体的に改善していくことを説明し、ご理解いただいた。
1件	利用児童 保護者を名乗 る方（匿名で 区へ連絡）	育成中にあいキッズの職員が、言うことを聞かない児童に対して、「もう来なくていいよ」と言っていた。そういう職員を居させていいのか。	区からの連絡を受け、名指しされた職員に聞き取りを行なったが、事実としては確認できず。様々な場面でいろいろな方から見られている意識を持ち、言動に気をつけていくことを改めて確認した。

【その他】

① 安全管理

● 避難訓練（14回）

- ・ 地震や火災時の避難方法など、時期や種類に合わせて訓練しました。
- ・ 職員が避難誘導の動きの確認だけでなく、真剣さが伝わる児童への声掛けの仕方、態度についても学びました。

● 健康管理

- ・ 夏の期間は猛暑の日が多く、外遊びの代わりに冷房が効く体育館で遊び、熱中症予防に努めました。
- ・ 補食中は会話をしないこと、全員が同一方向を向いて、「ごちそうさま」をするまで横や後ろを向かないことを指導しました。

● 衛生管理

- ・ 毎日、補食の配膳担当者が衛生点検を実施しました。
- ・ 補食の提供方法について、職員間で確認・共有する場を設けました。
- ・ 嘔吐処理の研修を行いました。
- ・

● 安全管理

- ・ 施設内外で起きた事故・クレームの検証と未然防止に向けた職員配置や動きの見直しを行いました。
- ・ 書庫等の保管書類の整理をしました。
- ・ 緊急避難時に児童の足を保護する目的で、児童が上履きを履いて過ごせるよう、令和5年度の導入に向けて、学校、板橋区あいキッズ係と協議し、あいキッズでの上履き着用の開始を決定することが出来ました。

② 地域交流

- PTA主催の行事（PTA祭り）、若木・中台地区の『さくら草まつり』に参加し、地域の方にあいキッズを知っていただくきっかけになりました。さくら草まつりでは、児童の発表終了後には、板橋区長から直々にお褒めの言葉をいただきました。町会の行事や寺子屋事業主催のイベントにも参加予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、中止となりました。
- 補食で提供したお煎餅などのパッケージや、工作の際に出た画用紙の端材で「モザイクアート」を作成し、中台地域センターのエントランスに飾っていただきました。お便りや板橋区 Facebookなど様々な方法で発信出来たことで、保護者の方から「子どもと見てきました！」「子どもが嬉しそうに教えてくれました。」という言葉をいただきました。
- 要保護児童対策地域協議会に参加し、地域の関係各所の委員の方々と情報共有をしました。その「つながり」の中から、緑ヶ丘児童館の館長と協力して、次年度の入所予定児童がいる保育所・幼稚園との交流を持つことができるようになり、近隣保育園の保護者会にてあいキッズの説明をさせてもらうことができました。また緑ヶ丘児童館の館長には運営協議会のメンバーに入っていたことになりました。

志村第二小学校あいキッズ

【職員の状況】

職名	令和4年4月1日の職員数				年間就任・退任						令和5年4月1日の職員数				
	(内休業職員数) 正規職員	有期契約職員		計	正規職員	有期契約職員				計	(内休業職員数) 正規職員	有期契約職員		実人員合計	
		常勤	非常勤			常勤		非常勤				常勤	非常勤		
						就	退	就	退						就
施設長	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	
補佐1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
補佐2	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	
一般職員	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2	
非常勤職員	0	1	12	13	0	0	0	0	2	2	0	1	13	14	
登録型 パートタイマー	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	-1	0	0	0	
計	3	1	13	17	0	0	0	0	2	3	-1	4	1	13	18

【施設運営状況】

- ・ 児童の力を活かす取り組みとして初めて通年でスポーツ教室を開催しました。経験のある児童が事前に打ち合わせをして練習内容を検討、当日も担当児童を中心にイベントが進み、職員はそのサポートに回っています。回を追うごとに「初めての子どもが楽しめるためにどうしたらよいか？」を児童だけでも考えられるようになり、参加児童も開催日がやってくることを毎月楽しみにしていました。
- ・ 利用人数の増加に伴い、学校の家庭科室・算数少人数教室・図書室などをお借りして運営することが増えました。使用後の清掃、校内での過ごし方については学校副校長と事前に確認し、不備の無いよう努めました。

【利用者支援状況】

- ・ 保護者会を開催する際には必ず館内の見学会をセットで行いました。保護者の皆様からは大変好評で玩具や本、掲示しているぬりえなどの作品をご覧になっていました。職員と話す中で日頃のちょっとした疑問を尋ねられることもあり、あいキッズへの理解に繋がったご家庭もありました。今後はイベント体験などの保護者参加型の保護者会開催を検討していきます。
- ・ お迎えの方への挨拶に加え、玄関の掲示物作成や魅せ方を施設として重点的に取り組みました。特にイベントニュースレターはお迎え時の隙間時間にあいキッズでの様子を知らせていただける良い機会となりました。

【施設整備状況】

[区が準備した物品] パーテーション・物品棚・アルコール等消毒用品

【年間利用状況】 (各月平均利用数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
きらきら オレンジ	119	121	120	120	94	114	110	112	106	98	97	98	1309	109.08
さんさん	14	19	18	13	8	12	11	11	13	9	12	11	151	12.58
計	133	140	138	133	102	126	121	123	119	107	109	109	1460	121.67

【利用者在籍状況推移】 (各年度3月1日現在)

年度	きらきら	全児童
令和2年度	177	374
令和3年度	180	351
令和4年度	195	340

【主なできごと】

- 4月：一年生 TIME、お花見弁当、
 5月：50m 記録会、けん玉検定
 6月：足し絵コンクール
 7月：七夕工作、ピカピカどろだんご
 8月：ピカピカどろだんご、夏フェス (毎日クイズ・イベントシールラリー)
 9月：ちょうちん作り
 10月：秋フェス (毎日クイズ・イベントシールラリー)、自由工作、ハロウィン工作
 11月：動物教室
 12月：Xmas 工作、冬フェス
 1月：正月遊び、マンドリン演奏会
 2月：節分、1000m 持久走
 3月：ひな祭り工作、卒業を祝う壁面作り、春フェス

※ 毎月、英語であそぼう、走り方教室、各種スポーツ、スポーツ体験教室、壁面作り (近隣高齢者施設へのプレゼント) を実施しています。

※ 英語であそぼう 毎週火曜日 リモートにて実施

※ サポーター事業 読み聞かせ・将棋・バスケットボール

【苦情内容及び結果の公表】

件数	主な苦情内容	対応及び解決方法
1件	1年男児 体育館での食休みの際にいたずらをして いた児童がいたせいで怪我をした。また 処置簿と職員の話に食い違いがあり対応 に不信感を抱かれた。	体育館の職員配置が不足していたため配 置を増やした。 保護者へのお伝え前に事実確認をしてか ら報告することとした。
1件	1年男児 児童のお迎えに来ていた保護者から直接 欠席連絡を頂いていたにもかかわらず電 話で出欠確認をしてしまった。出欠席だ けでなく日頃の情報共有に対してきちん とできているのか不安を抱かれた。	忙しいからとメモに残さず受けてしまっ た。直接受けた連絡や変更は、必ず玄関メ モに残すか無線を入れる。 電話対応の職員は電話をかける前に、確 認事項のリストに準じてから電話をかけ る。確認事項のリストを電話がある机に 掲示した。

【その他】

① 安全管理

● 防災訓練

- ・ 地震や火災に備えた避難訓練を毎月実施しました。（内、引き渡し訓練は職員訓練のみ）
- ・ 6月にプライベートゾーン、12月に不審者対応訓練（協力:志村警察）を実施しました。

● 健康管理

- ・ アレルギー児童へは保護者と面談の上、安全な補食を提供できるように配慮しました。主に複
数名での確認、アレルギー児童は専用トレイを使用して提供しています。
- ・ 受付時に児童への視診や声かけを行い、体調の悪そうな児童には早期に対応しました。
- ・ 猛暑の時期には、必ず活動前にWBGTを計測し、安全に出来る範囲で校庭遊びを行いました。休
憩を小まめに設け、水分補給や体を休めるようにして児童及び職員の体調管理に努めました。
また、マスクを付けた状態での活動となるため、休憩の際にソーシャルディスタンスを確保し
てマスクを外して呼吸を整えるようにしていました。

● 衛生管理

- ・ 触れる機会の多い箇所（手すり、ドアノブ、電話、スイッチなど）を毎日消毒しています。
- ・ 児童来室時に玄関で手指の消毒、手洗い場で職員が声掛けして石鹸を使った手洗いの徹底に努
めました。また、遊ぶおもちゃを変える時に消毒するようにしています。
- ・ 毎日、補食配膳担当者が衛生点検を実施しました。

② 地域交流

- ・ 「あいキッズ運営協議会」を7月は書面配付、2月は対面形式で開催しました。
対面で渡せる方については挨拶と併せて直接お伺いして配付しています。
- ・ 高齢者事業部「私の時間」に毎月壁面をプレゼントしました。
児童の写真や吹き出しをつけて情景が浮かぶように一手間加えています。
- ・ ボランティアセンターの「夏ボラ」に応募し20名以上を受け入れることになっていましたがコ
ロナが流行してきていたため中止となりました。

2023年5月26日

- ICSに通年参加しました。今までお話しする機会が無かった方とのやりとりができ、学校ボランティアにパート職員の参加、漢字検定に職員を派遣、おやGの会の物品（コスプレ）をお借りすることが出来ました。

志村第四小学校あいキッズ

【職員の状況】

職名	令和4年4月1日の職員数				年間就任・退任								令和5年4月1日の職員数			
	(内休業職員数) 正規職員	有期契約職員		計	正規職員	有期契約職員				計	(内休業職員数) 正規職員	有期契約職員		実人員合計		
		常勤	非常勤			常勤		非常勤				常勤	非常勤			
						就	退	就	退						就	退
施設長	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	
補佐1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	
補佐2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
一般職員	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	
非常勤職員	0	1	13	14	0	0	0	0	8	4	4	0	1	20	21	
登録型 パートタイマー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
計	3	1	13	17	0	0	0	0	8	4	4	3	1	20	24	

【施設運営状況】

- ・ 受託2年目となり児童と職員の関係性もできてきた中での運営でした。前年度に比べ平均利用人数も30人ほど増え、3年生以上の利用も多かったです。
- ・ コロナ感染対策対応として、マスクの着用の徹底、児童が自分で消毒できるスタンドの購入、補食は一方向を向いて食べるなどの取り組みを行いました。また、向かい合って行う室内遊びについては、区から配付されたパーテーションを活用しています。
- ・ 「子どもたちのありのまま」を受け入れる職員集団になるために子どもたちの行動の「あるある」を会議の場などで話し、その際の職員の対応を共有することで、児童対応の幅を広げ、余裕を持った児童対応を心がけました。

【利用者支援状況】

- ・ あいキッズの昇降口にある黒板を「にじいろ掲示板」と称して、児童の様子を発信したり、イベントの情報を掲示したりすることで、保護者や、普段は利用がない高学年児童へ向けた魅力発信を行いました。保護者からは「あいキッズでの様子が分かって嬉しい。」「色んなことをやってくれているのですね。」などのプラス意見をいただいています。
- ・ タブレット学習を再開しました。学校と何度か協議を重ね、ログイン用QRコードの保管方法の変更が行われたことであいキッズでもタブレット利用ができるようになったためです。保護者からも要望が多かったので希望に沿う成果が出せたことは良かったです。

【施設整備状況】

[区が準備した物品] パーテーション
 [法人で購入した物品] なし

【年間利用状況】 (各月平均利用数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
きらきら オレンジ	163	162	160	157	112	157	153	150	149	139	138	138	1778	148.17
さんさん	14	17	26	26	15	19	19	18	17	15	21	21	228	19.00
計	177	179	186	183	127	176	172	168	166	154	159	159	2006	167.17

【利用者在籍状況推移】 (各年度3月1日現在)

年度	きらきら	全児童
令和3年度	215	673
令和4年度	247	692

【主なできごと】

- 4月：あいキッズ探検、全面サッカー、ダンスタイム、みんなで逃走中、子どもの日工作
 5月：バスケットタイム、吹き出しコンテスト、マンカラ大会
 6月：季節の折り紙、つくろう志四の森、ぶんぶんゴマ工作、炎のドッジボール
 7月：七夕工作、キックベース、虫探し探検、自由工作、真夏の怪談、リクエスト球技、
 ヨーヨー釣り
 8月：帽子マグネット制作、障害物競走、ファンルームタイム、きらきら万華鏡工作、アルミ玉づくり
 プラバン、縁日かた抜き、シュシュづくり、牛乳パック工作
 9月：ワンバンバレー、ピンポンパンゲーム、5秒ゲーム、ホームランダービー、秋の写真コンテスト
 10月：教師の日メッセージカード作り、チーム対抗Sけん大会、職員とリレー対決、オンライン工場見学
 ハロウィン工作
 11月：ミサンガ工作、タグラグビー体験会、ハンドベル教室
 12月：みのむし工作、ハンドベル練習会、クリスマス工作、アートバルーン、サッカー練習会、
 年末お楽しみ会
 1月：伝承遊び週間、ベーゴマタイム、ビーズブレスレット制作、足し絵コンテスト、節分工作
 2月：ぬりえコンテスト、しっぽ取りおに、ひな祭り工作
 3月：めちゃぶつけ、コサージュ作り、ミニ縁日、紙皿 UFO 飛ばし

- ※ 英語であそぼう 毎週金曜日 リモートにて実施
 ※ サポーター事業 読み聞かせ毎月1回水曜日、イラスト教室毎月1回
 キッズヨガ毎月1回、体の動かし方教室2か月に1回
 卓球教室毎月1回

【苦情内容及び結果の公表】

件数	主な苦情内容	対応及び解決方法	
1件	2年きらきら 保護者	「水筒が無くなった。隠された可能性がある。いじめにつながらないか心配。」	水筒自体は、すぐに見つかった。校庭での水筒保管方法を学年ごとにしっかり分けることで、できるだけ不特定多数の他人に触られない状況を作ることで納得いただいた。
1件	3年きらきら 保護者	「校庭で側転をしていたら職員から『そこではやらないで』と言われたため、別の場所でやっていたら『そこでもやらないで』と言われた。どこならやっていいのか？そもそもやってはいけないのか？子どもが迷わないように統一してほしい。」	職員の認識が統一されておらず、声掛けがあやふやであったことを謝罪。側転はあいキッズではやらないことになっていることを伝え、それを児童にも伝え謝罪したことを話し納得していただいた。
2件	2年と3年 きらきら 保護者	「タブレット学習ができるようになり、あいキッズでタブレットばかりやっている。外で遊んだり友達と関わったりしてほしい。」	あいキッズでのタブレットの使用ルールとあいキッズでも学習以外はやらないことになっていることを伝えたとこ納得していただいた。
1件	3年きらきら 保護者	5時一人帰りだったが、2時に「2時帰りだから帰る」と児童からの申し出があったので、確認のため電話をかけていた。その最中に児童があいキッズを出て帰宅してしまった。保護者から「子どもが出て行ってしまふのを止められない職員、そしてシステムがおかしい。ちゃんとやってほしい。」	法人内で決めていたルールが守られていなかったことが原因だったため、後日責任者から謝罪をした。また、決められたルールを手順通りに遂行していくために、受付周りの職員数を増やし、責任者、副責任者の確認も定期的に行うことで同じことが起きないように対応していく。

【その他】

① 安全管理

● 防災訓練

- 地震や火災に備えた避難訓練を12回実施しました。

● 健康管理

- アレルギー児童へは保護者と面談の上、安全な補食を提供できるように配慮しました。主に複数名での確認、アレルギー児童は専用のお盆にて提供をしています。
- 受付時に児童への視診や声かけを行い、体調の悪そうな児童には早期に対応しました。
- 気温が高い日は、外遊びの合間に水分補給の休憩時間を設けて、児童及び職員の体調管理に努めました。また、マスクの着用については、学校の対応に合わせ、休憩の際にマスクを外して呼吸を整えるよう声掛けを行いました。

● 衛生管理

- 児童来室時には職員が手洗い場に立ち、石鹸を使った手洗いの徹底を呼びかけました。また、活動の切り替えのタイミングで手を洗うようにしました。
- 毎日、補食配膳担当者が衛生点検を実施しています。

■ 安全管理

- ・ 台風や地震の後に施設を点検し破損個所の確認をしました。

② 地域交流

- ・ 「あいキッズ運営協議会」を2回開催しました。7月に開催した1回目の運営協議会は、委員の方からのご意見により、書面開催となりました。
3月開催の2回目は対面で行い、あいキッズと地域各所とのつながり方についてたくさんのご意見をいただくことができました。次年度に向け実際に地域各所と繋がっていくイメージが出来ました。
- ・ 志村図書館から定期的に本を借り学習時間中に読めるようにしています。